



かつなりくん

かりや

K

市議会

だより

〈第174号〉

～刈谷市議会は、議会基本条例に基づき、「市民に開かれた議会」・「市民に信頼される議会」を目指して議会活性化に取り組んでいます～

ミササガパークがリニューアルオープン さらに魅力的な公園として生まれ変わりました



令和6年4月7日(日)にオープニングイベントが開催されました

主な記事	ページ
1月臨時会	2
6年度予算	2～3
主な議案	4
委員会の動き	4
議決結果	5
質問質疑	6～8

3月定例会のあらまし

この定例会は2月16日に招集され、会期36日間で3月22日に閉会しました。今回は議案など34件が提出されました。

◆2月16日 本会議

- ・(施政方針、議案説明など)
- ・市長による令和6年度施政方針及び議案の大綱説明
- ・教育長による令和6年度教育行政方針説明
- ・工事請負契約の額を変更する専決処分についてなど2件の報告を了承
- ・公平委員会委員の選任についてを同意

- ・刈谷市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部改正についてなど16議案を関係する委員会に付託

- ・令和5年度刈谷市一般会計補正予算(第8号)など4議案を予算審査特別委員会に付託

- ・市民館の敷地内禁煙を求める請願を市民文教委員会に付託

- ◆2月28日～3月1日 本会議(質問質疑)
- ・21人の議員による質問質疑

◆1日 本会議(委員会付託)

- ・令和6年度刈谷市一般会計予算など8議案を予算審査特別委員会に付託

◆1日 予算審査特別委員会

- ・各分科会を設置

◆5日・7日・8日・11日 委員会、分科会

- ・議案、請願、陳情を審査及び採決

◆21日 予算審査特別委員会

- ・予算議案を採決

◆22日 本会議(採決)

- ・開会初日上程議案(既決議案を除く)は全て原案可決
- ・請願は不採択

- ・令和5年度刈谷市一般会計補正予算(第9号)が追加上程され、原案可決
- ・現行の健康保険証の存続を求める意見書の議員提出議案が追加上程され、原案否決
- ・傍聴者は延べ128人

* 6月定例会の開催予定 *

- 5月24日(金) 議会運営委員会(運営を協議)
- 6月5日(水) 本会議(開会、一般質問など)
- 6日(木) 本会議(一般質問など)
- 7日(金) 本会議(一般質問、議案説明など)
- ・予算審査特別委員会
- 13日(木) 企画総務委員会
- 14日(金) 福祉産業委員会
- 17日(月) 建設委員会
- 18日(火) 市民文教委員会
- 27日(木) 予算審査特別委員会
- ・議会運営委員会(運営を協議)
- 28日(金) 本会議(委員長報告・採決など)

各会議は10時から17時まで(進行状況などにより、変更する場合があります)。傍聴の際は、当日次の受付へ。

本会議：市役所10階、傍聴受付
委員会：市役所9階、議会事務局受付

○託児を希望される方へ(生後6か月以上の未就学児、先着順)
臨時保育室「カンガールーム」を御利用いただけます。
傍聴希望日の1週間前までに議会事務局へ御連絡ください。

○手話通訳・要約筆記を希望される方へ
傍聴希望日の1週間前までに議会事務局へ御連絡ください。

○一般質問KATCH放送(地上デジタル112チャンネル)
6月11日(火)、12日(水)、14日(金)でいずれも10時から。
詳しくは(株)キャッチネットワークのホームページを御覧ください。



1月臨時会開催

主な議案

〔令和5年度刈谷市一般会計補正予算(第7号)を可決〕

1月臨時会は1月30日に招集され、会期を1日間とし同日閉会しました。

議案について、反対意見がありませんでしたが、採決の結果、原案のとおり可決しました。

補正予算議案

補正する額(一般会計)

3億1129万8千円

補正後の予算総額(一般会計)

67億9029万6千円

補正後の予算総額(全会計)

1027億5925万1千円

〔事業〕

物価高騰対応重点支援給付金

支給事業

【問】 今回の戸籍法の一部改正により本籍地以外の市区町村で戸籍証明書等の交付が可能となったが、その理由は何か。

【答】 これまで戸籍情報は本籍地の市区町村で紙媒体によって管理されていたが、戸籍情報のネットワーク化が進み、現在では全ての市区町村で戸籍情報が電子化され、市区町村が保有する戸籍情報が法務省のシステムに集約され、全国の戸籍情報の利用が可能となったためである。

【問】 広域交付等に向けて本市はどのような準備を進めてきたのか。

【答】 本市では、戸籍法に対応するため、令和2年度から5年度にかけて、毎年、電子化等に向けたシステム改修等を行ってきた。今回の法改正による広域交付等は市民の方にとって利便性を感じてもらえるものと考えている。

条例議案

【問】 今回の戸籍法の一部改正により本籍地以外の市区町村で戸籍証明書等の交付が可能となったが、その理由は何か。

【問】 行政のデジタル化が進む中、給付内容や確認事項が書かれた確認書を返送ではなく、電子申請による提出を行う自治体もあるが、本市が行わない理由は何か。

【答】 新たな手法を導入することで、システムの対応など新たな作業が発生するため、最も早く給付金の支給が行える方法として、これまでの給付金と同様に確認書の返送を用いた方法を採用した。

議決結果一覧表

(※)：賛否が分かれたもの

- ・損害賠償の額を定める専決処分について
- ・刈谷市手数料条例の一部改正について(※)
- ・令和5年度刈谷市一般会計補正予算(第7号)

了承
可決
可決



給付金の支給により家計の負担軽減を図る

1月臨時会提出議案の賛否 賛否が分かれたものについて掲載します。(○：賛成 ×：反対)

議案名及び議決結果	自民クラブ										市民クラブ					清風クラブ		公明クラブ		所属の無所属議員		日本共産党議員団	にじいろの会	参政党	日本維新の会	議長	副議長	
	大山	葛原	加藤	近藤	揚張	加藤	外山	山崎	稲垣	佐々木	伊藤	鈴木	深谷	中嶋	佐原	上田	新海	星野	武藤	谷口	鈴木	蜂須賀	山本	城内	森島	三田	鈴木	松永
刈谷市手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	※	○

※議長のため、採決には加わらない

令和6年度予算関係

本会議での質疑

質問質疑では、市政の方針などを問いました。本会議での質問質疑については、6〜8ページの「質問質疑」を御覧ください。

委員会・分科会・本会議

質問質疑終了後、予算審査特別委員会を経て各分科会で審査しました。

3月21日に開催された予算審査特別委員会では、各分科会での審査の経過と結果が報告され、一般会計、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険の各特別会計の計4議案に反対の意見がありました。採決の結果、賛成多数により、いずれも原案のとおり可決しました。

22日の本会議では、予算審査特別委員会の報告を受け、討論を行いました。

討論では、刈谷市の整備に向けた予算やマイナンバーカードと健康保険証を一体化する予算が含まれていることなどにより、反対との意見がありました。採決の結果、議案はいずれも原案のとおり可決しました。

【分科会での主な質疑】

■企画総務

【問】 導入するシステムの概要はどのようなか。

【答】 自然災害などの危機情報の把握や対応に必要な情報を、SNS、気象データ、河川や道路カメラ等から収集し、AI技術を活用してリアルタイムに解

析・可視化することで、災害時の迅速な情報収集や被害状況の把握を可能とするものである。また、災害現場に赴いた職員がスマートフォンに専用アプリから現場状況や位置情報を投稿することで、災害対策本部において対応状況をリアルタイムに把握することができる。



リアルタイムに情報を収集して迅速な災害対応を

■福祉産業

【問】 C o D o さんのT e c h p r o j e c t はどのような内容か。

【答】 市内の中高生や企業を対象に、最新テクノロジーに関する学びと、その成果を基に協同でものづくりに取り組む事業である。プロジェクトは、3つのプログラムで構成されており、プログラミング言語を用いて、AIやIoT開発の基礎を学ぶ技術学習プログラム、中高生と企業が協同で成果物を製作する協同製作プログラム、協同製作した成果物を発表するプレゼンテーションを6日間にわたり実施している。

■建設

都市拠点活用推進事業

【問】 都市再生推進法人の役割と指定の対象となる団体はある

【答】 これからのまちづくりは、都市再生推進法人が町に関わる様々な人と一緒に防災、防犯、公共施設の活用や管理のほか、まちづくりのルールを策定するなどのエリアマネジメント活動により、中心的な役割を担い、活気とにぎわいの創出に取り組んでいくことが望ましいと考えている。都市再生推進法人の指定には、刈谷駅周辺でまちづくりに関する様々な活動を行っている団体を想定している。

■市民文教

子育てパパ応援事業

【問】 事業の内容とターゲットはどのようなか。

【答】 主にゼロ歳児から2歳児を対象に、現在、小山託児ルームで月1回土曜日に開催のすくすくパパ広場に加えて、月1回平日にも保育士が父親向けのプログラムを行う育休パパ広場を開催するものである。また、出張子育て広場や2歳から就学前の子供を対象としたパパと一緒にわくわくマラソンといった、父親と一緒に体を動かし、親子の絆を深めるイベントも開催する。本事業は、主に子育て中の父親を対象とし、女性が多い子育て関連の行事には参加しにくいと感じる男性が気軽に参加し、もらえると考えている。



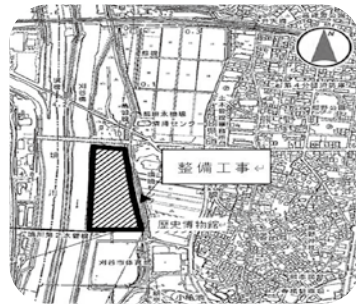
子育てへの不安感の緩和等により男性の育児参加の促進を図る

令和6年度予算に見る主要事業

逢妻川河川敷にスポーツ施設を整備 (（仮称）逢妻川河川敷運動広場整備事業)

市民のスポーツニーズへの対応と健康増進を図るため、逢妻川河川敷にサッカー場や多目的広場等のスポーツ施設を整備します。

【事業箇所】 逢妻町
【整備工事】 約3.8ha



部活動の地域連携等を進めるために 部活動コーディネーターを配置 (部活動指導者活用事業)

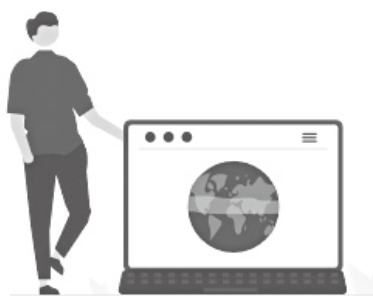
部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行を進めるため、学校、外部指導者、総合型地域スポーツクラブ等との連絡調整を行う部活動コーディネーターを新たに配置します。



中小企業とスタートアップ企業の連携を促進 (スタートアップ連携促進事業)

革新的なアイデアや技術を有するスタートアップ企業との連携を促進するためのプログラムやイベントを実施します。

【主な取組】
市内中小企業とスタートアップ企業とのマッチングイベントの開催など



スマート農業機器の導入を支援 (スマート農業総合推進事業)

農作業の省力化及び生産性の向上を図るため、ドローンや自動収穫ロボット等のスマート農業機器の導入に対して補助を行います。

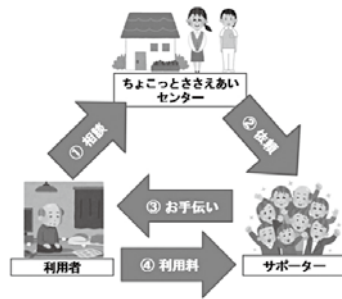
【対象経費】 機器購入費
【補助率】 3分の1
【補助額】 個人 上限150万円
法人 上限250万円



在宅生活で抱えるちょっとした困りごとの 解決を支援 (ちょこっとささえあい事業)

ちょっとした困りごとを解決するため、市民ボランティア活動センター内にちょこっとささえあいセンターを設置し、利用者とサポーターのマッチングを行います。

【対象】 65歳以上の要支援・要介護認定者及び75歳以上の方



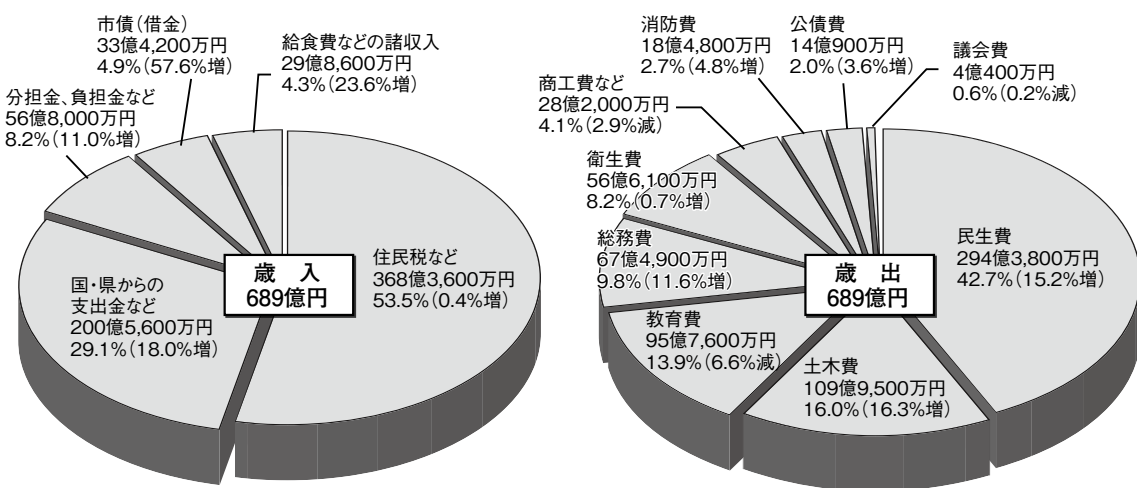
地域住民の健康増進と憩い・交流の場を創出 (三豊公園整備事業)

公園が不足する地域に、子どもの遊び場、地域住民の健康増進及び憩い・交流の場を創出するため、公園を整備します。

【事業箇所】 野田町
【整備工事】 約3,300㎡



一般会計の内訳 ()内は対前年度比



〈国・県からの支出金などの内訳〉 国庫支出金、県支出金、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、環境性能割交付金、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金
〈分担金、負担金などの内訳〉 分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金
〈商工費などの内訳〉 労働費、農林水産業費、商工費、災害復旧費、諸支出金、予備費

(注) それぞれの数字は四捨五入等をしてそろえたため、総額や割合に一致していない場合があります。

6年度予算の総額

会計名	本年度	前年度比較	伸び率
予算総額	1,046億6,100万円	60億6,700万円	6.2%
一般会計	689億円	55億4,000万円	8.7%
特別会計	250億5,400万円	5億5,100万円	2.2%
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業	6億5,700万円	▲1億8,700万円	▲22.1%
刈谷野田北部土地区画整理事業	1億4,100万円	1,900万円	15.6%
国民健康保険	117億500万円	1億1,900万円	1.0%
後期高齢者医療	22億3,400万円	3,400万円	1.5%
介護保険	103億1,700万円	5億6,500万円	5.8%
企業会計	107億700万円	▲2,300万円	▲0.2%
水道事業	45億2,900万円	6,400万円	1.4%
下水道事業	61億7,800万円	▲8,700万円	▲1.4%

※詳しくは、市ホームページの「予算のあらまし」を御覧ください

主な議案

3月定例会

(要約して掲載しています)

単行議案

■市道路線の認定及び変更について

問 市道に認定することの意義は何か。

答 道路法に基づき、一般の交通の用に供する道路であることを認定し、道路管理者の許可を受けずに道路に工作物や施設を設け、継続的に道路を使用する不法占用の排除や通行の妨げとなる行為などの私権を制限することで通行の権利を守ることである。

問 民間開発により築造され帰属を受けた道路の認定基準はどのようなか。

答 帰属を受けた道路は、市道認定基準に合致した場合に認定する。認定基準の概要は、道路幅員が4メートル以上であること、「道路構造令」及び「刈谷市道路構造に関する技術的基準を定める条例」の基準を満たしていること、起点・終点が道路法第3条に規定する道路に接続していることである。

条例議案

■刈谷市水道事業及び下水道事業審議会条例の制定について

問 条例制定の背景及び必要性は何か。

答 本市における課題の対応策を検討する上で、上下水道事業に関わる事項の審議または調査等を行う「市長の附属機関」を地方自治法によって設置していることを明確にし、今後の効率的な事業運営につなげていくためである。

公平委員会委員の選任について
令和6年3月31日で任期満了となるので、次の方を選任することに同意しました。(任期4年)

利益の衝突を回避し、公正な職務の執行を確保するため、委員の任期満了に伴い、公平委員会委員の選任を行います。

みやた ゆきやす
幸泰 氏 (1期目・寿町)

補正予算議案

全議員で構成する予算審査特別委員会を経て、関係する分科会で審査しました。

3月21日に再度予算審査特別委員会を開催し、各分科会での審査結果について各委員長から報告を受け、22日の本会議においていずれも原案のとおり可決しました。また、同日、体育館トイレ等改修事業の繰越しなどに関する令和5年度一般会計補正予算(第9号)が追加上程され、原案のとおり可決しました。

補正する額(一般会計)
20億7421万6千円
補正後の予算(一般会計)
691億6451万2千円
1049億7584万2千円

【主な事業】

産業立地促進基金積立事業

問 基金を積み立てる目的は何か。

答 依佐美工業団地の先行開発区域や野田町の二ツ池地区などにおける事業所等の建設により、今後、産業立地促進補助金の交付が一時的に集中することが見込まれることから、各年度の財政負担の平準化を図るため基金を設置している。令和7年度までに交付が見込まれる補助額を算定して積み立てるものである。

陳情の結果

- ・高年齢福祉施設事業費寄附金 20万円
- ・心身障害者福祉事業費寄附金 5万円
- ・児童福祉事業費寄附金 78万5千円
- ・公園事業費寄附金 82万5千円
- ・総務管理事業費寄附金 180万3千円
- ・母子衛生事業費寄附金 30万8千円

陳情の結果

今回市民の皆さんから提出された陳情6件は、関係する委員会で審査した結果、1件が採択、5件が不採択となりました。採択された陳情に伴う意見書は、本会議最終日に議員提出議案として追加上程され、採決の結果賛成少数により、原案否決となりました。

【採択】

▼「現行の健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める陳情

【不採択】

- ▼ゴミステーションの指定回収袋掛け用フック改修の陳情
- ▼教育委員会が生徒に本場の「三種の神器」を教えることを求める陳情
- ▼教育委員会のホームページに、請願書も併せて全文だけでなくその附属文書も併せて全体を、会議録に掲載することを求める陳情
- ▼教育委員会定例会の会議録を容易に見られるようにホームページを改善することを求める陳情
- ▼教育委員会が取扱いを拒否して、審議に付さなかった請願書を教育委員会に再審議を求める陳情

委員会の動き

委員会では、議案、請願、陳情の審査のほか、主に次のことについて、質問がありました。

企画総務委員会

消防団員の確保

問 本市の消防団員数及び女性消防団員数は。

答 令和6年2月末時点で消防団員は333人、女性消防団員は12人となっている。

問 団員数が年々減少しており、地域防災力の低下が懸念される。団員確保への市の考えは。

答 今年度、かりまるへの団員募集のラッピングや市役所1階に全国女性消防操法大会の写真等を設置したコーナーを設けるなどPRを行った。啓発活動を推進するとともに全国の取組事例を参考に団員確保に努める。その他「刈谷市への御意見・お問合せ」の質問がありました。

福祉産業委員会

第2次刈谷市自殺対策計画

問 第1次計画の成果と課題をどのように生かすのか。

答 第1次計画では、基本目標である自殺死亡率について目標達成には至らなかった等の課題を踏まえ、「子供・若者」「働く世代」「女性」を重点対象とした施策を推進していく。

問 相談窓口等の周知はどのように行っているのか。

答 リーフレット、ホームページ等で状況に応じた相談窓口を市民の方に周知している。その他「刈谷市環境都市アクションプラン(令和6年改定版)」についてなどの質問がありました。

建設委員会

刈谷市地域公共交通計画

問 中部と南部エリアの地域路線はデマンド交通と支線バス路線の併用型なのか。

答 中部と南部エリアは鉄道やバスのカバー率が高く、地域路線としては地域と幹線交通を結ぶ支線バス路線が適していると考えられる。

問 バスやデマンド交通と民間タクシーの共存はどのようなか。

答 市内の地域特性を踏まえた上で適切な役割分担を図り、個々の機能が生かされていく仕組みが必要であると考えられる。その他「ミササガパーク」「チョイソコかりや」などの質問がありました。

市民文教委員会

第3次刈谷市観光推進基本計画

問 観光の目指す最終目標は。

答 本市の最上位計画である第8次刈谷市総合計画の目指す将来都市像を観光分野から実現するためのものである。市民をはじめ刈谷で働く人や活動する人、訪れる人など刈谷に関わる人がまちに誇りを持ち、生き生きと活動していることにより、まちの様々な価値が高まり、定住人口、流入人口などの増加につながると考えている。

その他「第2次刈谷市多文化共生推進計画」「5歳児健康診査」などの質問がありました。



基金の積立により財政負担の平準化を図る

※市民の方から貴重な御寄附を頂きました。補正予算に計上

議決結果一覧表

(※)：賛否が分かれたもの

・工事請負契約の額を変更する専決処分について
・刈谷市土地開発公社事業計画等について
・公平委員会委員の選任について
【企画総務委員会関係・5議案】
刈谷市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部改正について

刈谷市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正について(※)
刈谷市職員の育児休業等に関する条例及び刈谷市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について
職員給与に関する条例の一部改正について
刈谷市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について

【福祉産業委員会関係・2議案】
刈谷市介護保険条例の一部改正について(※)
刈谷市国民健康保険条例の一部改正について(※)

【建設委員会関係・6議案】
市道路線の認定及び変更について
刈谷市手数料条例の一部改正について
企業職員の給与に関する条例の一部改正について
刈谷市水道給水条例の一部改正について(※)
刈谷市水道事業及び下水道事業審議会条例の制定について(※)
刈谷市下水道事業の設置等に関する条例及び刈谷市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について

【市民文教委員会関係・3議案】
刈谷市青山斎園条例の一部改正について
刈谷市子ども子育て会議条例の一部改正について
刈谷市図書館条例の一部改正について(※)
【予算審査特別委員会関係・12議案】
(令和5年度補正予算)
刈谷市一般会計補正予算(第8号)
刈谷市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
刈谷市水道事業会計補正予算(第2号)
刈谷市下水道事業会計補正予算(第3号)
(令和6年度予算)
刈谷市一般会計予算(※)

刈谷市刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業特別会計予算
刈谷市刈谷野田北部土地区画整理事業特別会計予算
刈谷市国民健康保険特別会計予算(※)
刈谷市後期高齢者医療特別会計予算(※)
刈谷市介護保険特別会計予算(※)
刈谷市水道事業会計予算
刈谷市下水道事業会計予算

【請願・1件】
市民館の敷地内禁煙を求める請願(※)
【追加上程・1件】
令和5年度刈谷市一般会計補正予算(第9号)
【議員提出議案・1議案】
現行の健康保険証の存続を求める意見書(※)

請願の提出方法についてはこちら↓



3月定例会提出議案の賛否

賛否が分かれたものについて掲載します。(○：賛成 ×：反対 -：欠席)

Table with columns for '議案名及び議決結果' and various council members (e.g., 副議長 松永 寿, 議長 鈴木 正人, 日本維新の会 三田 真弥, etc.). Rows include items like '刈谷市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正について' and budget items for Heisei 6 and Reiwa 6.

質問質疑

市政のつじを問う

この定例会では2月28日・29日・3月1日の3日間で、21人が登壇し、40項目にわたり、市政について質問質疑が行われました。主な項目について要約し、掲載します。

質問質疑項目（発言順） ※：掲載した項目

- 蜂須賀 信明 議員
 - ※1 刈谷市の災害対策について
 - ※2 刈谷市の多文化共生社会の取組について
- 稲垣 雅弘 議員
 - ※1 「にぎわい」をシリーズに新たな地域づくりについて
- 城内 志津 議員
 - ※1 令和6年度子ども子育て政策について
 - ※2 市民に開かれた市政運営について
- 佐々木 隆 教 議員
 - ※1 スマートシティ刈谷の取組について
 - ※2 交通安全の取組について
- 武藤 美智代 議員
 - ※1 市の情報発信について
 - ※2 予防医療の充実について
- 三田 真弥 議員
 - ※1 税の透明性について
 - ※2 祭りについて
- 星野 雅春 議員
 - ※1 令和6年度施政方針について
 - ※2 令和6年度教育行政方針について
- 森島 公祐 議員
 - ※1 防災における自助の見直しについて
 - ※2 ワクチンによる健康被害の現況について
- 加藤 幹樹 議員
 - ※1 産後ケア事業について
 - ※2 上下水道広域連携について
- 山本 シモ子 議員
 - ※1 豊かな教育の充実について
 - ※2 市長の政治姿勢について
 - ※3 2024年度予算案について
- 佐原 充恭 議員
 - ※1 児童発達支援センターの移転・再整備について
 - ※2 マイボトル専用無料給水機の設置について
- 鈴木 定晴 議員
 - ※1 災害時の対応状況について
- 山崎 高晴 議員
 - ※1 施政方針について
 - ※2 教育行政方針について
- 鈴木 絹男 議員
 - ※1 水源浄水場について
 - ※2 施政方針及び教育行政方針について

質問・答弁がホームページから映像で御覧になれます。「刈谷市議会」で検索し、「議会映像を見る」をクリックしてください。



蜂須賀 信明 議員 (主な答弁者・・・市民活動部長)
刈谷市に住む外国人が住み続けたいと思う環境づくりを!!
—地域全体でさらなる多文化共生を図るよう支援していきたい—

問 外国人との交流の場所と なっているワールド・スマイル・ガーデンとは何か。
答 一ツ木町で実施しており、国籍などに関係なく多様な人々が集まり交流できる多文化共生コミュニティ・ガーデンであり、野菜等を育て収穫する作業を通じて交流を深めるなど、参加者全員が楽しむ場所である。
問 ワールド・スマイル・ガーデンの今後の進むべき方向性はどうか。
答 小垣江町でも国籍などに 関係なく多くの人が集まり交流



国籍に関係なく交流できる場の創設により多文化共生を図る

稲垣 雅弘 議員 (主な答弁者・・・生活安全部長)
可搬ポンプを活用し、機動力のある防災体制の構築を!!
—消防署や消防団と協議しながら検討していきたいと考えている—

問 地区防災計画の策定状況は。
答 地区防災計画は、自主防災組織の行動規範として定めている地区もある。計画の策定に当たっては、自主防災会を支援し、協力して取り組みたい。
問 女性消防隊が操法大会全国2位となった効果はどうか。
答 女性消防隊の活躍を契機に、一層の啓発や支援を行い、消防団員数の増加に努めていきたい。女性消防隊が使っている可搬ポンプを各分団で導入していく考えはないが、今後、消防ポンプ車の更新の際に、消防署や消防団と協議しながら検討していきたいと考えている。

城内 志津 議員 (主な答弁者・・・次世代育成部長)
子ども計画には、子供の意見の反映を!!
—アンケートやSNS活用など、子ども・子育て会議で検討する—

問 子供が評価されることな 安心して子供時代を過ごせる居場所づくりを



子供たちが安心して過ごせる居場所づくりを

以上の税金を使っている。市民 感覚から離れすぎているのか。
答 安全性や快適性、代表する立場等総合的に判断している。

佐々木 隆 教 議員 (主な答弁者・・・生活安全部長)
交通事故対策としてビッグデータを活用し、さらなる対策を!!
—分析検証し、効果的な安全対策に向け関係機関と調整していく—

問 交通事故の現状は。また、yuricarから得られるデータを活用した安全対策は。
答 交通事故件数は近年減少傾向だが、令和5年の死者数は増加した。安全対策として令和3年度に東境町、4年度に原崎町、稲場町で速度抑制のための路面標示やガードパイプ等を行う。安全対策を実施できるよう関係機関と調整していく。

武藤 美智代 議員 (主な答弁者・・・企画財政部長)
災害時と平常時は、どのように情報発信をするのか!!
—公式LINEやあいかりを使い、状況に応じた発信をしていく—

問 刈谷市が被災地になったときの情報発信は、どのようなツールを使うのか。
答 メール配信サービス、市公式LINE、ホームページ、あいかり、フェイスブック等で発信している。また、緊急地震速報などの緊急情報は、防災ラジオや同報系防災行政無線から

三田 真弥 議員 (主な答弁者・・・企画財政部長)
議員の調査時に現状の提出書類とともに領収書の添付を!!
—各補助金の交付要綱等の範囲で提出を依頼することは可能—

問 議員が補助金や委託料を調べる際、情報公開制度が必要である。また、黒塗りの文書が公開された場合は情報開示請求が必要となる。税金が何に使われているのかを調べることが難しい構造のため、現状、提出が必要なら完了実績報告書等に領収書の添付は可能なのか。
答 議員がお金の流れを調べる場合、情報公開制度のとりどりの各部署がチェックする書類と同じ物を見ていただく。提出を求めている書類等は領収書に限らず、各補助金の交付要綱等に定められている範囲で、補助金交付の相手方から必要書類の提出依頼は可能と考えている。

星野 雅春 議員 (主な答弁者・・・教育部長)
心の教室相談員の相談時間を拡充する背景は!!
—心の悩み等を抱える児童生徒や保護者の相談が年々増えている—

問 スクールカウンセラーは、できるだけ長く安定した待遇の中でカウンセリングをやってもらうことが良く、子供たちも安心の教室相談員の相談時間を拡

新海 真規 議員

- ※1 刈谷駅南側エリアのまちづくり構想について
- 2 街路樹について
- 3 道路のハンブ設置について
- 4 刈谷デジタルクーポンについて

- 伊藤 愛 恵 議員
- ※1 子育て×Maasによる刈谷の魅力向上について
- 2 中学校部活動の地域移行について

- 谷口 睦生 議員
- ※1 共生社会の実現に向けた認知症施策について

- 葛原 祐季 議員
- ※1 学校部活動の在り方について

- 上山 昌哉 議員
- 1 刈谷市の今後の財政と雇用と市民の暮らしについて
- ※2 日本版DBSについて

- 外山 鉦一 議員
- 1 資源回収所について
- ※2 保育施設の現状について

- 深谷 英貴 議員
- ※1 施政方針及び教育行政方針について

充する背景は。
 児童生徒を取り巻く問題は、不登校をはじめ発達の問題や家庭環境等多岐にわたり、心の悩みや心配事を抱える児童生徒の増加が懸念される。必要となる備蓄品の種類や量について検討する。

森島公祐 議員 (主な答弁者・・・生活安全部長)
能登半島地震の状況を踏まえ、備蓄のさらなる強化を!!
 —必要となる備蓄品の種類や量について検討する—

南海トラフ地震では県の策定した想定避難者数よりも、避難者が増加することが想定される。備蓄を強化するのかが、能登半島地震での備蓄に関する検証を踏まえた上で、必要となる備蓄品の種類や量について検討したいと考えている。

備蓄品量の強化の根拠と
 加藤幹樹 議員 (主な答弁者・・・次世代育成部長)
産後ケア事業をはじめとした子育て支援のさらなる充実を!!
 —市民に寄り添ったきめ細やかな子育て支援を実施していく—

国が「子ども・子育て支援政策を拡充する加速化プラン」で示した「産後ケア事業の実施体制の強化等」を受けて、本市はどのような対応をするのか。

宿泊型と日帰り型の利用
 支援施策は何か。

児童生徒を取り巻く問題は、不登校をはじめ発達の問題や家庭環境等多岐にわたり、心の悩みや心配事を抱える児童生徒の増加が懸念される。必要となる備蓄品の種類や量について検討する。

「育休パパ広場」などの子育て中の父親が気軽に集える場所の提供や父親向けのイベントを開催し、父親同士が子育てに関する話や悩みを相談できる機会を創出する。

山本シモ子 議員 (主な答弁者・・・教育部長)
小中学校の給食費無償化の実施を!!
 —多額の費用が必要となり、継続的な実施には課題がある—

給食費無償化を安城市は昨年の9月から実施し、みよし市、豊田市は今年の4月から実施することだが、無償化の動きを把握しているか。

定期的な開催される近隣市との給食センター関係の会議を活用して他市の動向の把握に努めている。

2学期末までの無償化に保護者の喜びは大きかった。令和6年度の実施を強く求める。多額の費用が必要となり、継続的な実施には課題がある。

発達障がいがある、あるいは障がい心配される子がそれぞれのライフステージに合った支援を受けられる体制整備は急務であり、中でも幼児期における早期発見・早期療育ができる環境整備は特に重要と考える。センターの機能はどのようか。

従来の障害福祉サービスの拡充に加え、新たに巡回相談支援事業として、保育所等の施設を巡回し、早期発見・早期療育につなげる取組を強化する。

市内におけるマンホールトイレの設置状況や今後の計画は、令和5年度末で、10か所の避難所に58基を設置し、今後

令和5年度末で、10か所の避難所に58基を設置し、今後

令和5年度末で、10か所の避難所に58基を設置し、今後

令和5年度末で、10か所の避難所に58基を設置し、今後

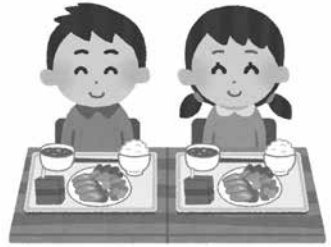
令和5年度末で、10か所の避難所に58基を設置し、今後

令和5年度末で、10か所の避難所に58基を設置し、今後

令和5年度末で、10か所の避難所に58基を設置し、今後

令和5年度末で、10か所の避難所に58基を設置し、今後

令和5年度末で、10か所の避難所に58基を設置し、今後



保護者の負担軽減を図るために給食費無償化の実現を求む

大規模地震で火災が発生した場合、初期消火活動をするための備えは、自主防災推進会議等において、自主防災事業補助金の制度を周知し、消火器等の初期消火設備の充実を図っていく。

山崎高晴 議員 (主な答弁者・・・市長)
市長が考える日本一安心・安全なまち刈谷とは!!
 —生涯安心安全で心安らかに暮らせるまちづくりが必要—

震災もあって、市民の安心安全への関心が高まっているが、安心安全という言葉の意味は災害対策等のハード面に限らないと理解している。市長が考える安心安全なまちづくりとは、本市の災害対策は、これまで総合的な防災力、減災力の向上を進めてきた。安心安全な

昭和30年代築の水源浄水場は耐震化のため更新が必要であり、適切な方法を取ってほしいが、どう考えているか。

水源浄水場の更新時に、不純物を常時排出するシステムなど新たな機能を導入する予定である。事業費を抑制する手段の一つとしては、民間ノウハウの活用を視野に検討している。

水源浄水場の水源は、境川の伏流水と深井戸であるが、新しい先進技術を使った維持管理の工法も有効と考える。どの

新設予定の「(仮称)たちまち公園」の整備計画について、神田公園と住吉公園のテニスコートを集約して整備するが、公園面積のうちテニスコートの割合はどれくらいか。

公園全体の面積は約1.2ヘクタールで、そのうち約0.5ヘクタールをテニスコートと

市民から喜ばれる公園にするための計画はどのようか。

地域の方々や病院関係者の意見を伺いながら検討を進めている。テニスコートのほか、健康遊具など健康増進につながる施設を設置し、日常的に体を動かす機会を提供していきたい。

市民から喜ばれる公園にするための計画はどのようか。

市民から喜ばれる公園にするための計画はどのようか。

市民から喜ばれる公園にするための計画はどのようか。

市民から喜ばれる公園にするための計画はどのようか。

市民から喜ばれる公園にするための計画はどのようか。

市民から喜ばれる公園にするための計画はどのようか。



切れ目のない支援体制の整備を



水源浄水場の耐震化と適切な維持管理を

伊藤 愛恵 議員 (主な答弁者・・・企画財政部長)
先端技術を活用し、子育て・教育や市民生活の質の向上を!!
 —高付加価値サービスの実装に向け、企業と共に取組を推進する—

問 刈谷放課後子育てMa a Sプロジェクトの実証実験に関する評価と今後の計画は。
答 利用者や事業者から好意的なコメントがあった。有料化など次のステップで実証を重ね、実装化に向けた取組を推進する。

問 本事業は、子育て・教育の質向上に資する取組であったが、スマートシティ構想の実現全体に関する今後の展望は。
答 本市で開発された先端技術が市内で実証され、先行的に社会実装され、質の高い市民生活



先端技術を活用した魅力的なまちづくりを

谷口 睦生 議員 (主な答弁者・・・福祉健康部長)
認知症基本法に基づき認知症の人や家族に寄り添った支援を!!
 —チームオレンジを立ち上げ認知症の人や家族の支援拡充につなげる—

問 令和6年1月に施行された認知症基本法の目的は。
答 認知症の人を含めた国民一人一人がその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支えあいながら共生する活力ある社会の実現を推進することを目的とする。

問 今後の市の認知症施策は。
答 本市の第9期介護保険事業計画「高齢者福祉計画では「認知症施策の充実」を基本目標とし、認知症ステップアップ講座を受講した人を中心としたチームオレンジを立ち上げ、認知症の人やその家族のニーズにあった具体的な支援につなげる仕組みを構築する。

葛原 祐季 議員 (主な答弁者・・・教育部長)
今後の学校部活動の在り方についての考えは!!
 —部活動コーディネーターを配置し地域人材の充実を図る—

問 小学校部活動終了の方針は、将来的な中学校の部活動の在り方をめぐる議論に関連しているのか。また、将来像に向けた段階的な措置であったのか。
答 刈谷市独自の小学校部活動は、国の提言により見直し、令和8年度末までに終了を予定しているが、中学校については、当面、学校部活動の形を維持しながら継続する予定である。

問 今後の部活動の在り方について市の考え方はどのようなか。



各校の実態に応じた地域人材の充実を図る

問 令和6年度から部活動コーディネーターを配置し、各中学校の部活動の実態に応じて、地域人材の充実を図りながら、地域移行の在り方を検討する。

上田 昌哉 議員 (主な答弁者・・・教育部長)
日本版DBSの導入により子供たちを性犯罪被害から守る!!
 —関係機関と連携し、日本版DBSに関する議論に留意していく—

問 日本における日本版DBS導入の機運はどうか。
答 現在、こども家庭庁の有識者会議において導入に向けた検討が進められている。

問 児童生徒が性犯罪被害を受けた場合の心のケアはどうか。
答 万が一の場合、警察などの関係機関と連携し適切に対応する。学校では、被害を受けた児童生徒の状況や心の状態に配慮した上で、教職員とスクールカウンセラー等が連携し児童生



子供たちが安心できる環境の整備を

外山 鉦一 議員 (主な答弁者・・・次世代育成部長)
保育士がいつまでも働き続けられる魅力ある園づくりを!!
 —安心して保育ができるよう業務軽減と処遇改善に努めている—

問 全国的に保育士不足が言われているが、本市は採用者数に対し応募者数が3・0倍と高い。その主な要因は何か。
答 育児休業や特別休暇など働きやすい環境づくりに努め、この取組を、大学等の訪問時に説明することで多くの応募につながっていると考える。

問 全国的に保育士不足が言われているが、本市は採用者数に対し応募者数が3・0倍と高い。その主な要因は何か。
答 給与は一般行政職と同じ給与体系で、私立保育所には補助を行い同水準支給されている。また業務支援システムの導入等保育士の負担軽減に努めている。

深谷 英貴 議員 (主な答弁者・・・市長)
全ての産業の持続的な成長を促すまちづくりが必要では!!
 —社会の変革スピードを見誤ることなく市政運営を行う—

問 円安や少子化、自動車業界の変革期等の課題が山積みしており、産業分野では、イノベーションやDX、GXが大きなキーワードとなるが、令和6年度における市長の思いは。
答 既存のリソースの活用と人材の育成が大切だと感じている。子供たちにもものづくりへの興味を持ってもらうために実施している「CodoものTechプロジェクト」や「未来創造たまご塾」の取組を進めながら、新たに市内の中小企業向けにス



ものづくりへの興味を持ってもらい次代を担う人材の育成を図る

市議会における個人情報開示請求等の実施状況
 令和5年4月1日に施行された「刈谷市議会個人情報保護条例」では、毎年度、この条例の施行状況を公表することと規定されていますが、令和5年度において保有個人情報の開示請求等はありませんでした。

議会トピックス

議員研修会を実施

(2月1日)

【講師】 弁護士 帖佐 直美 氏

【テーマ】 議員とコンプライアンス

研修会では、議員が公の場所で発言する場合やSNSなどを通じて情報を発信する場合の注意点について根拠法令を交えながら御講義いただきました。
 現代社会では、あらゆる情報がインターネットを通じて手に入れますが、中には誤った情報が含まれている危険性もあるため、情報を引用して発信する場合には、安易に鵜呑みにするのではなく、あらかじめその内容が真実であることをしっかりと確認することの大切さを学びました。
 議会の信頼は議員一人一人の良識ある対応と節度ある行動により保たれるものです。市民から誤解や疑念を招くことがないように、今回の研修を通じて学んだ内容を肝に銘じ、市民に信頼される議会を目指してまいります。

編集後記

かけはし

◆年度替わりの季節、4月には子供たちなど新しいステージへとまた一歩踏み出した方も多々と思います。新たな場での御活躍を祈念いたします。
 ◆3月定例会では、令和6年度予算の様々な事業などについて、市民の皆様が安全で安心して暮らせるまちづくりに向けて議論を重ねてきました。
 ◆特別会計などを含めた令和6年度予算の総額は、前年度と比較して6・2%増の1046億6061万9千円と過去最高額となりました。総合

計画の基本方針である都市基盤「安心して暮らし続けられる快適なまちづくり」、教育文化「生涯にわたって学び地域への愛着を育むまちづくり」、産業環境「人と技術でにぎわいを創り未来につながるまちづくり」、福祉安心「支え合い誰もが安心して暮らせるまちづくり」のほか、マネジメント方針「持続的なまちの発展を支える行財政運営」における施策を着実に遂行し、市民の皆様のために取り組んでいきます。市議会としても市当局と未来の刈谷市を見据えながら議論してまいりますので、市民の皆様のお意見を気軽に頂けると幸いです。
 (議会広報委員会)